

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年4月21日)

〔件 名〕

- 1 山陰資源適正処理協議会との「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結について  
(循環型社会推進課)・・・2
- 2 淀江処分場計画地の埋蔵文化財発掘調査後の盛土・緑化業務の完了等について  
(循環型社会推進課)・・・3
- 3 淀江産業廃棄物管理型最終処分場計画に係る調査・設計等の結果について  
(循環型社会推進課)・・・4
- 4 令和3年度「日本一のすなば」魅力〇ごと事業イベントの応募・採択状況について  
(緑豊かな自然課)・・・5
- 5 飲食店等における新型コロナウイルス感染防止対策の強化について  
(くらしの安心推進課)・・・6
- 6 県営住宅永江団地の空き住戸を活用した小規模多機能型居宅介護事業所の開設について  
(住まいまちづくり課)・・・7
- 7 天神川流域下水道における複合バイオマス資源の有効活用検討について  
(水環境保全課)・・・8
- 8 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について  
(緑豊かな自然課)・・・10

## 生活環境部

## 山陰資源適正処理協議会との「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結について

令和3年4月21日  
循環型社会推進課

鳥取県と山陰資源適正処理協議会（以下、「協議会」という。）との間で、「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結したので、その概要を報告する。

### 1 協定締結式

- (1) 日時 4月14日（水）午後2時から2時15分まで
- (2) 場所 本庁舎3階 第4応接室
- (3) 協定締結相手方・出席者

山陰資源適正処理協議会 ※山陰両県の金属資源再生業者20社（鳥取県内13社、島根県内7社）が会員  
会長：牧浦 健泰 氏〔(株)牧浦商店 専務取締役（鳥取市正蓮寺）〕  
副会長：海老田 耕三 氏〔(有)海老田金属 代表取締役会長（米子市上福原）〕  
副会長：瀧川 一弥 氏〔瀧川産業(株) 代表取締役（島根県出雲市大津町）〕  
事務局：本多 敏志 氏〔平林金属(株) 山陰工場長（米子市旗ヶ崎）〕



### 2 協定の概要

- (1) 協定の名称  
大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定
- (2) 協定の背景・目的
  - ・協議会から、大規模災害時において、災害廃棄物の仮置場の円滑な受入、再資源化・減量化のための協力の申出を頂いた。
  - ・本県では、これまで5つの廃棄物関係団体と災害時に備えた協定を結んでおり、6団体目の締結となる。
  - ・協議会は、特に廃棄物の再資源化や減量化に繋がる分別のノウハウを有しておられ、災害発生時の迅速で適切な災害廃棄物の再資源化に繋がることから、主に大規模災害時に設置する仮置場での作業等、御協力いただく内容を定めた協定を締結することとした。
- (3) 主な協定内容
  - 県は、県内市町村が大規模災害時に設置する仮置場において実施する災害廃棄物の処理等について、市町村からの要請に基づいて、協議会に対し協力を要請する。
    - ①誘導案内
    - ②廃棄物と再生資源との分別対応
    - ③建設荷役機械等による再生資源選別作業
    - ④運搬車両等による場内運搬
    - ⑤家電リサイクル処理品目等の処理に係る助言
    - ⑥その他再生資源に係る災害廃棄物の対応
  - 協議会は、県からの支援要請を受けたときは、会員の中から必要な人員、車両、資機材を調達し、県の指示に従って、災害廃棄物の処理等に可能な限り協力する。

## 淀江処分場計画地の埋蔵文化財発掘調査後の盛土・緑化業務の完了等について

令和3年4月21日  
循環型社会推進課  
とっとり弥生の王国推進課

令和2年度に淀江産業廃棄物処分場計画地内で（公財）鳥取県環境管理事業センター（以下、「センター」という。）が実施した埋蔵文化財発掘調査（令和2年11月30日現地調査終了）については、その後、令和2年11月定例県議会での議論を踏まえてセンターが実施した盛土・緑化等の業務が完了したので報告する。

### 1 発掘調査済み墳丘の保全

センターは、調査済みの墳丘の一部について、当面、保護するための盛土・緑化作業を実施した。

○盛土・緑化の概要：

- ・調査済みの墳丘に保護層として盛土を行い、植生シートにより緑化した。
- ・その他の周辺部分については、整地し、植樹による緑化を行った。



調査済み墳丘（ベルト）：作業前



盛土・緑化作業後

### 2 経過

- |             |  |
|-------------|--|
| R2. 11. 30  | 埋蔵文化財発掘現地調査終了【センター】  |
| 12. 14      | 県文化財保護審議会史跡・埋蔵文化財部会において埋戻し・緑化、土嚢積み工法部分の剥ぎ取り保存の手法について報告・意見聴取【県】 |
| 12. 21      | 関係者による現地確認【県、米子市、センター】   |
| 12. 22      | ブルーシートによる仮養生【センター】   |
| R3. 1. 14   | 墳丘土層断面（土嚢積み工法部分）の剥ぎ取り保存作業実施（～1/15）【県】                          |
| 2. 4～ 3. 3  | 盛土作業【センター】   |
| 3. 8～ 3. 10 | 緑化作業【センター】   |
| 3. 26       | 工事完成検査実施【センター】   |

### 3 発掘調査成果の活用

- ・センターが令和3年度中に報告書として取りまとめる。（米子市文化財団に業務委託：予算措置済み）
- ・出土品や墳丘の土嚢積み工法（※）部分の剥ぎ取り保存した土層断面については、米子市で展示・公開する予定である。

※盛り土が崩れないようイネ科の植物を用いて制作された「俵」に土を詰めて盛る工法で、古墳での発見例が多い。本県の晩田山古墳群ほか全国でも確認されている。

## 淀江産業廃棄物管理型最終処分場計画に係る調査・設計等の結果について

令和3年4月21日  
循環型社会推進課

(公財)鳥取県環境管理事業センター(以下「センター」)が実施した淀江産業廃棄物管理型最終処分場計画に係る調査等が終了したので結果を報告する。

なお、センターは、「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」が実施中の地下水等調査の進捗状況等をよく確認しつつ、引き続き関係6自治会に対し環境保全協定の協議を通じて事業計画への理解を深めていただくなど、廃棄物処理法の施設設置許可申請に向けた準備を継続する。

### 1 実施状況

#### (1) 令和元年9月補正予算関係(※令和2年2月県議会で繰越議決)

項目	実施状況
測量及び用地調査	○業務内容：基準点測量、地形測量、縦横断測量、水路測量、用地測量、用地調査 ○契約期間：令和元年11月1日～令和3年3月19日 ○結果：業務内容の全ての測量及び調査を実施し、それらの結果を取りまとめた。
地質調査及び詳細設計	○業務内容：ボーリングによる地質調査、処分場の詳細設計 ○契約期間：令和元年11月1日～令和3年3月29日 ○結果：業務内容の地質調査及び詳細設計(えん堤等の貯留構造物、遮水工、集排水施設等)を実施し、それらの結果を取りまとめた。

#### (2) 令和2年度当初予算関係

項目	実施状況
埋蔵文化財発掘調査	① 発掘調査 ○業務内容：発掘調査1, 374㎡ ○契約期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○結果：埋蔵文化財発掘調査(現地調査)を実施し、図面の整理などの業務が完了した。  ② 発掘調査のための伐採等 ○業務内容：発掘調査に必要な伐採・進入路設置、調査終了後の盛土・緑化 ○契約期間：令和2年5月8日～令和3年3月29日 ○結果：発掘調査前の伐採や進入路の設置、調査後の墳丘保護のための盛土及び植生シート・植樹による緑化等の業務が完了した。  ※令和3年度は、発掘調査結果を報告書として取りまとめる。
周辺整備計画策定準備	○業務内容：周辺整備計画の各事業の費用算定 ○契約期間：令和2年7月10日～令和3年3月25日 ○結果：周辺自治会の要望の一部(公民館、放送設備、消防設備等)についての概算費用の算出及び概略図面の作成を実施し、当該自治会(役員)へ説明した。  ※令和3年度は、継続して周辺自治会の要望について、費用算定等を実施する。

## 令和3年度「日本一のすなば」魅力<sup>まる</sup>Oごと事業イベントの応募・採択状況について

令和3年4月21日

緑豊かな自然課

鳥取砂丘未来会議では、「日本一のすなば」魅力Oごと事業（鳥取砂丘の魅力の学びや体験、砂丘西側エリアの利活用を促進するための「学び、遊び、泊まり」に繋がるイベント）を公募し、ヒアリング等を行った結果、令和3年度に実施するイベント（10件）を採択したので、その概要を報告する。

1 募集期間 令和2年12月21日(月)～令和3年2月12日(金)

2 応募状況 [応募件数] 10件 [応募総額] 8,548千円

### 3 審査結果

3月5日(金)にイベント応募者からのヒアリングを行い、企画内容や新型コロナ対策等を審査した結果、以下のとおり採択した。なお、採択額が予算額に達していないため、3月31日(水)まで二次募集を実施し、1件の応募があった。(ヒアリング及び審査会は5月予定)

[審査結果] 採択10件(不採択なし)

[採択総額] 8,548千円(予算額13,600千円)

### 4 採択イベント

イベント名	実施団体	概要
サンドホテルプロジェクト 【新規】	合同会社LCALA	ドーム状のガーデンコテージを設置し、星空観察・砂像づくり体験など、砂丘の素晴らしさを体感できる滞在体験を行う。(4月～5月)
400度の炎の宴 ～鳥取砂丘編～ 【新規】	炎の宴実行委員会	砂丘の歴史と文化を因幡地域の高品質な食材を使った料理を通して学び、体験する飲食イベントを実施する。(4月、10月)
鳥取砂丘 おそうじセグウェイ ～鳥取砂丘漂着ゴミ問題 美化計画～ 【新規】	株式会社SiSS	砂丘西側エリアで実施中のセグウェイガイドツアーに「漂着ごみ美化活動コース」を組み込み、環境保全活動を実施する。(4月～12月)
新しい様式で砂丘にGO! 「鳥取砂丘・大人の遠足 Vol. 4」	鳥取砂丘・大人の遠足 実行委員会	「早朝」・「夏夜」・「秋」の3つの別世界が広がる砂丘エリアを2時間程度歩いて、絶景を体感する。(6月～9月)
ちびっ子砂丘探検隊2021	山陰海岸国立公園鳥 取砂丘ビジターセン ター管理運営協議会	子供を対象にした砂丘の動植物、砂の動き、農業などの学習会、アクティビティ体験を通じて、ちびっ子砂丘ガイドを育成する。(6月～11月)
第4回多鯨ヶ池手づくりい かだレース	浜湯山・多鯨ヶ池活性 化委員会	多鯨ヶ池で手づくりいかだによるタイムレースを行う。(7月)
遊び場すなば「星空☆砂丘キ ャンプ～砂の音楽会～」	小鳥企画	砂丘西側を舞台に音楽会を開催。朝夕の砂丘の美しさ、夜の砂丘の魅力を家族で体感する。(7月～8月)
砂像コンテスト&砂像シン ボル作成展示 in 砂丘ビーチ 砂もり大会	砂丘ビーチ砂もり大 会&砂像コンテスト 実行委員会	砂もり大会とテーマに沿って制作した砂像の出来栄を競うコンテストを行う。併せて、会場に地元小中学生が制作した砂像を展示する。(8月)
鳥取砂丘リアルゲームラン ド2021(自転車さんぽ+リ アル神経衰弱+AR)	鳥取砂丘リアルゲー ムランド実行委員会	砂丘を中心に自転車を利したクイズサイクリングとスマートフォンを利用した歴史・観光クイズアトラクションを行う。(10月～11月)
鳥取砂丘オーバーヘッドP K日本一決定戦2021 【新規】	鳥取・はだしサッカー 推進会議	岩戸海岸で全国のサッカー愛好家等によるオーバーヘッドPK大会を開催する。また、地元住民が楽しめるビーチスポーツ・ヨガ体験会を行う。(11月)

# 飲食店等における新型コロナウイルス感染防止対策の強化について

令和3年4月21日  
くらしの安心推進課

令和3年3月末に県東部の飲食店においてクラスターが発生したことを受け、飲食店等に対する感染防止対策を強化したので、その概要を報告する。

## 1 飲食店等の巡回指導

### (1) 巡回指導

- ・4月1日から5日に県内3地区の社交飲食店（飲食店、カラオケ喫茶等）750店舗を巡回し、197店舗を指導し、不在店舗にはチラシ等を配布した。
- ・4月9日に米子市の飲食店、社交飲食店650店舗を巡回し、193店舗を指導し、不在店舗にはチラシ等を配布した。
- ・大型連休に備え、今後も4月中に2～3回程度の巡回指導を実施する。（5月以降も定期的に実施予定）

### (2) 指導内容

- ①マスク着用（特に食事中の会話やカラオケ利用時のマスク着用） ②換気の徹底、換気方法の確認
- ③パーティションの設置、フィジカルディスタンスの確保 ④手指消毒の徹底 ⑤消毒薬の種類・濃度

### (3) 指導結果

- ・マスク着用は8割、手指消毒や換気は9割実施と概ね良好だが、パーティションの設置等が6割とやや不十分であった。
- ・カラオケのある店舗や主に常連客が集う店舗で、感染予防対策が不足する傾向があった。

## 2 飲食時における感染防止対策の取組

飲食店等における感染拡大防止を図るため、安心対策認証の取得及び利用を促進し感染防止対策を徹底する。

### (1) 飲食店向け県版ガイドラインの見直し

以下のとおり、感染防止対策を強化する。

- ・マスク会食を徹底し、食事中でも会話の際はマスク着用を徹底する。
- ・同一グループでもパーティションを設置する。
- ・カラオケは以下の対策を講じるまでは利用を控える。
  - ①歌唱時のマスク着用・複数での歌唱の自粛 ②歌唱エリアの固定及び換気
  - ③ビニールカーテン等により歌唱エリアと客席との仕切り設置 ④マイク・リモコンの消毒の徹底

### (2) 安心対策認証の取得促進に向けた新たな応援金等の創設（受付期間4月14日～5月14日）

認証取得又はこれに準じた感染防止対策に取り組む飲食店を重点的に支援する。

県内飲食店にチラシを郵送するとともに、WEB説明会（4月20日開催）により認証制度等を周知する。

【第四波対策飲食店等感染防止強化緊急応援事業（応援金・補助金）】 調整費を活用：予算額4億円

区 分	補助等の要件（感染防止対策）	助成金額	補助率
認証取得応援金	認証取得又は認証店と同水準の感染防止対策を講じることが要件	20万円	定額
認証取得補助金（補助率嵩上）	非接触式体温計、パーティション、CO2モニター、換気設備の導入等（消耗品は対象外）	20万円	9/10

※対策完了後は、外部委託職員により現地を確認する。（対策が不十分な場合は、補正指示。対応しない場合、応援金・補助金の返還を求める。）

※複数店舗を有する場合は、感染防止対策を行う店舗数を乗じて支給。 ※認証店、県外資本の法人も対象。

### (3) 認証取得の働きかけ

- ・飲食店向け県版ガイドラインにより、店舗に応じた対策を具体的に指導するとともに、新たな応援金、補助制度を活用した対策強化及び認証取得を働きかける。
- ・客席テーブルに置くマスク会食など感染防止の注意事項を記載した山型を作成・配布する。

### (4) 認証審査体制等の強化

- ・外部委託による審査体制を構築し4月19日から業務を開始している。（委託先：東武トップツアーズ（株）  
認証・応援金等の受付・審査：くらしの安心推進課内に窓口を開設し12名配置  
飲食店の現地指導：東部、中部、西部に現地確認指導員を配置
- ・認証取得に必要な手順書（マニュアル）をチェックリスト形式へ見直し、事業者の負担軽減及び認証手続きの効率化を図る。

## 3 安心対策認証店の利用促進

テレビCM、新聞折込チラシ、専用ホームページの立ち上げ（検索機能の強化）などにより、認証店の広報を強化し、利用促進を図る。

# 県営住宅永江団地の空き住戸を活用した小規模多機能型居宅介護事業所の開設について

令和3年4月21日  
住まいまちづくり課

「社会福祉法人こうほうえん」(以下「こうほうえん」)が、県営住宅永江団地(米子市)(以下「永江団地」)の空き住戸において、小規模多機能型居宅介護事業所「デイハウスながえ」を開設し、4月1日から営業を開始したので、その概要を報告する。

## 1 施設概要

### (1) 設置、運営者

社会福祉法人こうほうえん 理事長 廣江 晃

### (2) 施設概要

施設名称：デイハウスながえ

所在地：米子市永江280-2(県営住宅永江団地52-1棟233号室及び234号室)

施設用途：小規模多機能型居宅介護事業所(介護が必要な高齢者のニーズに応じて、通い・泊まり・訪問のサービスを一体として提供する高齢者支援施設)

### (3) 施設開所記念式典

日時：3月29日(月)午後1時30分から1時50分まで

場所：永江団地集会所・現地

主な出席者：こうほうえん理事長 廣江 晃氏  
永江地区自治連合会長 松井 克英氏  
鳥取県知事 平井 伸治  
米子市長 伊木 隆司氏



「デイハウスながえ」開所式

### (4) 運営状況

現在の利用者は4名(利用定員16名)。3月15日～19日に永江地区住民向けに施設見学会を行ったところ60名が見学を訪れるなど地域の関心は高く、今後増加が見込まれる。

## 2 永江団地における高齢者生活支援及びコミュニティ活性化の取組

### (1) これまでの経緯

永江団地では、入居者の高齢化が進み、高齢者の孤独死の増加、自治会活動の維持が課題となっており、県とこうほうえんは、令和2年6月に「永江団地の高齢者生活支援及び周辺地区活性化に関する連携協定」を締結し、高齢者生活支援及びコミュニティ活性化に取り組んできた。

### (2) 連携協定による取組概要

事業	内容
高齢者の生活支援	・県がこうほうえんに永江団地の高齢者見守り・生活相談のサービス提供等を委託 →見守りは、永江団地の高齢者33世帯が申し込まれ、訪問による安否確認を実施(地区の元気な高齢者10名(うち3名が看護師の有資格者)が見守りに同行) →生活相談は、電話や「支え愛の店ながえ」で受付
小中学生向け学習支援及び食事提供	・こうほうえんが島根大学生を講師に迎え、永江地区公民館で小中学生向け学習支援事業を実施 →11/7～12/26の間で延べ97名の小中学生が参加し好評を得ていたが、R3年1月以降はコロナ感染拡大防止のため休止している。(5月から再開予定)
学生ルームシェア	・県営住宅にルームシェアで入居する学生が団地清掃、自治会のイベント等に参加して、地域活性化に取り組む事業 →鳥取大学、米子高専で入居者を募集したが、応募がない状況(随時募集中)

【永江団地の概要 (R3. 4. 1時点)】

昭和48年から54年に建設した、県営住宅で最大規模の団地(312戸)で、高齢者世帯が48.7%(152戸)、単身高齢者世帯が27.8%(87戸)を占める。

## 3 今後の取組

- ・令和3年度予算において、IoT技術を活用した高齢者の見守りシステムを開発することとしており、こうほうえんが高齢者の見守りを行い、緊急通報を受信することとしている永江団地で、モデル的に運用していくこととしている。
- ・永江団地における地域住民や介護事業者と連携した取組を引き続き進めるとともに、当該取組をモデルケースとして、他の県営住宅においても高齢者の見守りや生活支援、地域コミュニティの活性化につながる取組を検討していく。

# 天神川流域下水道における複合バイオマス資源の有効活用検討について

令和3年4月21日  
水環境保全課

天神川流域下水道で発生する下水汚泥を中心とした複合バイオマス資源の利活用検討の予備調査として、事業の持続可能性向上に資するバイオマス資源の活用方策について民間事業者に提案を募集したところ、3者から提案があったので、その審査結果を報告する。

## 1 検討の経緯等

### (1) 目的

人口減少に伴う使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う更新投資の増大といった下水道事業が抱える諸課題に対応するため経営基盤の強化が求められており、天神川流域下水道においても、民設民営を基本として、下水汚泥を中心とした地域バイオマス資源の有効活用策の検討を行う。

### (2) 検討体制（鳥取県複合バイオマス資源利活用検討会）

鳥取県複合バイオマス資源利活用検討会を設置し、募集要項の検討を行い、令和3年3月9日に提案の審査を行った。

- ・高部 祐剛 氏（鳥取大学工学部社会システム土木系学科 准教授）
- ・戸苺 丈仁 氏（公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授）
- ・柳 年哉 氏（公立鳥取環境大学経営学部経営学科 教授、公認会計士）
- ・中江美代子 氏（公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社 主幹）
- ・中西 朱実 氏（鳥取県生活環境部くらしの安心局 局長）

※オブザーバーとして、天神川流域下水道の構成4市町に検討に参加していただいた。

## 2 民間提案の状況

### (1) 提案の主な条件

#### ア 対象施設の範囲

バイオマス資源受入・前処理施設、汚泥消化施設、バイオガス有効利用施設（ガス発電、燃料化等）、汚泥有効利用施設（固形燃料化、たい肥化等）

#### イ 事業期間

[設計・建設] 3年以内 [維持管理・運営期間] 20年間

#### ウ 事業手法

民設民営を基本とし、PFI方式等の提案も可能とする。

<条件>

県・市町の新たな投資がない、或いはきわめて低廉であること。（現行の汚泥外部処理委託費（15,500円/t）の削減が可能であること。）

### (2) 民間提案の概要（別紙参照）

3者から提案書が提出されたが、費用低減効果を提示したのは提案Bのみ（▲約2.2億円/20年）  
[提案A(株式会社クボタ)] 県汚泥消化施設整備(DBO) + 消化ガス発電事業(民設民営)  
[提案B(月島機械・三光グループ)] 県汚泥消化施設・町高濃度濃縮機整備事業(DBO)+消化ガス発電事業(民設民営)  
[提案C(共和化工・因幡環境整備)] 県汚泥肥料化施設整備事業(DBO)

※DBO・・・公共が資金調達し、施設の設計・建設、運営を民間が一体的に実施する方式

※消化ガス・・・下水汚泥を発酵させる過程（消化）で発生するメタンを主成分とした可燃性ガス

### (3) 審査結果（3月30日に公表済み）

審査基準に基づく評価点により順位を決定するとともに、本提案募集の主目的である「天神川流域下水道の持続可能性の向上」の観点から検討を行った結果、第1順位者を最優秀提案として選定した。

順位	提案者名	評価点	備考
1	提案B(月島機械・三光グループ)	243点/500点	最優秀提案
2	提案C(共和化工・因幡環境整備)	133点/500点	—
3	提案A(株式会社クボタ)	110点/500点	—

## 3 今後の進め方

行財政改革局等において精査の上、詳細な導入可能性調査の実施等について、関係者と検討していく。

## 民間提案の概要

## ＜提案A＞ (株)クボタ：第3位(110点)

## 下水汚泥由来バイオガス有効利用事業

提案内容	概要	<p>○汚泥消化施設整備事業（DBO）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水汚泥の消化施設を新設し、消化ガスを発生させる。</li> <li>・消化ガスをガス発電事業者に売却</li> </ul> <p>○消化ガス発電事業（民設民営）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化ガスを県から購入し、敷地内に設置したガス発電機により発電のうえ売却。</li> </ul>
	主な設備	汚泥消化設備、消化ガス発電設備
	利用資源	下水汚泥（天神浄化センター）
費用対効果	20年間で約17.7億円の負担増	

## ＜提案B＞ 月島機械・三光グループ：第1位(243点)

## オフライン広域連携バイオマス拠点化プロジェクト

提案内容	概要	<p>○広域連携事業（DBO）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部4町公共下水道の脱水機(高価)に替えて、高濃度濃縮機(安価)に更新することを、県・流域事業によりまとめて行い、濃縮汚泥をタンクローリーで運搬して天神処理場で集約処理する。</li> <li>・天神処理場に下水汚泥の消化施設を新設し、町の濃縮汚泥と併せて消化ガスを発生させる。</li> <li>・消化ガスをガス発電事業者に売却する。</li> </ul> <p>○消化ガス発電事業（民設民営）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化ガスを県から購入し、敷地内に設置したガス発電機により発電のうえ売却する。</li> </ul> <p>○地域連携事業（提案に関連して事業者が独自に実施する事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WET系廃棄物（廃牛乳及びグリストラップ汚泥）を収集し、発酵促進剤に加工する。</li> <li>・その発酵促進材を県に売却のうえ消化槽に投入し、ガス発生量を増大させる。</li> </ul>
	主な設備	高濃度濃縮設備（中部3町の公共下水道に設置）、汚泥消化設備、消化ガス発電設備
	利用資源	下水汚泥（天神浄化センター及び町公共下水道）、廃牛乳及びグリストラップ汚泥
費用対効果	20年間で約2.2億円の負担軽減	

## ＜提案C＞ 共和化工・因幡環境整備：第2位(133点)

## 天神川流域下水道バイオマス資源のエコリサイクル事業

提案内容	概要	<p>○肥料化事業（DBO）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天神浄化センター内に肥料化施設を新設</li> <li>・天神浄化センターの脱水汚泥の処理を肥料化事業者へ委託</li> <li>・事業者は生成した肥料をグループ内農業法人や地域農家で活用（基本的に無償）</li> </ul>
	主な設備	肥料化設備、脱臭設備、製品化設備
	利用資源	下水汚泥（天神浄化センター）
費用対効果	20年間で約0.1億円の負担増	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和3年4月21日  
生活環境部

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
緑豊かな自然課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	大山博労座駐車場整備工事	西伯郡 大山町 大山	株式会社特研工業 代表取締役 谷口 博	(当初契約額) 159,500,000円 (予定価格) 170,852,000円	令和3年3月26日 ～令和3年12月10日	令和3年3月25日	制限付 一般競争入札 (8社)